

ふれあい

✪ 会長からのごあいさつ ✪

心身 健やかに



会長 石井 陽一

新型コロナが落ち着いたらと期待しながら、3年が経ちました。

はじめは、「コロナは特別な病気」としてほとんど知識はありませんので、世界中の人々が、怖がりコロナに感染しないようにと「不要不急」扱いする社会を経験しました。

今では感染、予防、治療などの知識を得てワクチン接種も広がり、多少の気持ちに余裕が出てきました。

これから、コロナ禍で忘れがちになっていた思いやり、やさしさ、心と気持ちやマナーなど、学校、家庭や地域で子どもたちとともに思い起こすことが大切だと思います。

藤沢市では文部科学省の指針に基づき、令和3年度より小・中学校に学校・保護者・地域が協力して子どもたちを育てる学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を設置していくことになりました。

この村岡地区においても令和4年度に高谷小学校からスタートし、向こう5年間に2中学校、5小学校の計7校に設置していく予定です。

むらおか・子ども相互支援会議では各学校運営協議会と連携し地域の子どもの心身の健やかな成長を支援してまいります。

皆様のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

✪ 副会長からのごあいさつ ✪

コロナ禍にあるため、現在はワイワイ広場への参加、地区内小・中学生が参加しての音楽会という大きな活動はできず、会議での情報交換が子ども達の様子を知る機会となっています。

一方で、私は地区青少協において、子ども向けの事業を行っており、常に多くの子ども達が応募し参加してくれる姿も見るため、子ども達が元気にさまざまな制約の中でもたくましく生活している姿も知っています。

現在も非常に感染者が多いため常に注意を払いながらですが、これからも子ども達が興味を持つ事業を用意し共に活動していきたいと思ひます。

副会長 廣田 和江

むらおか・子ども相互支援会議が発足して22年になります。私が参加したのは2期目からで今年で20年目になります。藤沢市東部地区の中学校区は藤ヶ岡中、村岡中、第一中、大清水中の4校になりますが、中でも藤ヶ岡中学校に通学している生徒が一番多くいるので、村岡中と藤ヶ岡中の2校の中学校区で成り立つむらおか・子ども相互支援会議に参加しています。

初めての活動として講演会を開催しましたが、2年目に子ども達も参加できる行事をしたいということで各校の先生方の協力で音楽会を開催するようになりました。今後も継続していけるように願っています。地域の方々、学校、家庭の協力で子ども達の健全な育成を進めていきたいと思ひます。

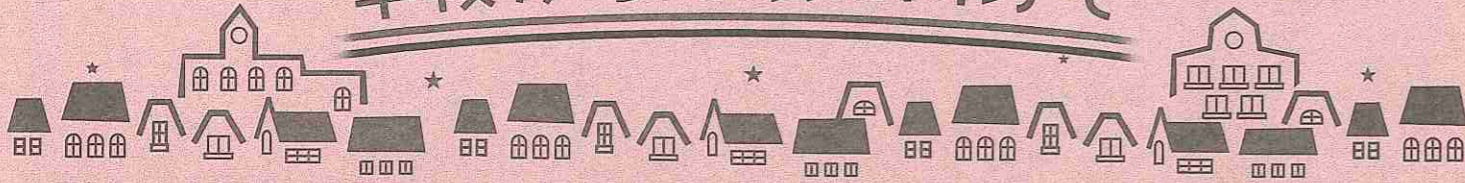
副会長 三 背 忠

新型コロナウイルス感染症との闘いも3年が経ち、世界的に行動制限が縮小される中、出来る限りの感染防止対策の元で、停滞していた我々の活動を再開して来ました。行動制限を通して、全ての活動がNo...Becauseになっているのではないかと、そして、出来ない事の理由としてコロナ禍と個人情報保護が使われていると感じました。

今回のパンデミックを30億年超生き続けるウイルスから、人類が築いて来た文明への警告と受け止め、活動のマインドをYes...Butへと転換すべき好機と捉えます。アメリカ合衆国第35代ケネディ大統領に最も敬愛する人物と評された上杉鷹山の金言「為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」の意味を真摯に学び直す時期に来ていると確信します。

副会長 高 久 進

学校から地域に向けて



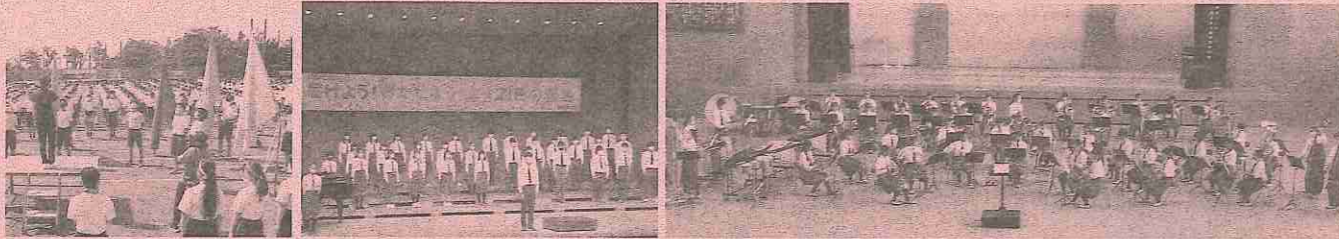
藤ヶ岡中学校 校長：米倉 康子

今年度は、三大大行事が実施できたことがとても嬉しいことでした。2度の延期の後行った体育祭と、気持ちよい秋晴れの中、市民会館

で行った合唱コンクールは、3年の保護者の方にご覧いただくことができました。文化発表会は昨年度に引き続き、リモートで校内のみで実施しました。

例年と違う形ではありましたが、生徒たちはその状況でできる精一杯の準備をし、本番に臨み、仲間との信頼関係を築いてきました。

実施できたことに感謝する気持ちを生徒たちが言葉にしてくれたおかげで、とても心温まる行事となりました。



▲体育祭

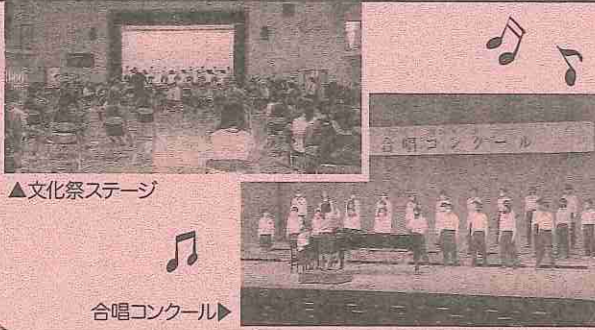
▲合唱コンクール

▲文化発表会

村岡中学校 校長：小池 規子

今年度は、三大大行事である体育祭・文化祭・合唱コンクールを実施することができました。実施にあたっては、感染防止対策を踏まえ分割形式などにせざるを得ませんでしたが、それぞれの行事では、生徒たちの楽しそうで嬉しそうな笑顔が溢れていました。行事で培った経験が、普段の学校生活に反映され、生徒一人ひとりが次の目標に向かうことができている。

地域の皆様には、生徒たちの活躍をご覧いただける機会が少ないにもかかわらず、いつも温かく見守っていただき、ありがとうございます。これからもご指導とご支援をよろしくお願いいたします。



▲文化祭ステージ

合唱コンクール▶

村岡小学校 校長：佐々木 貴

村岡小学校は、学校教育目標として掲げる『人間性豊かで、たくましく生きる子どもを育てる』という理念のもと、地域とともに歴史を

紡いできた学校です。開校は明治6年、令和5年度には創立150周年を迎えます。

地域の皆様には、日頃から本校児童を温かく見守り、支援していただき、ありがとうございます。

今年度は10月に表現発表会が行われました。1年生から6年生まで全校で、これまで練習してきたダンス表現を見合うことができました。全校で並ぶことも久しぶりです。「村岡小学校ってこんなにたくさん人がいたんだね。」そんな声が聞こえてきそうでした。それぞれの学年の演技を見て、大きな拍手を送ったり、拍手や声援をもらってうれしそうな表情が見えたりするとてもいい時間でした。上級生へのあこがれの気持ちや自分の何年か前の姿を思い出し、あらためて自分の成長を感じる、そんな発表会でした。

これからも児童が「なりたい自分」に向けて一歩ずつ進んでいく姿を見守っていただきますようお願いいたします。



▲村岡表現発表会_1

▲村岡表現発表会_2

高谷小学校 校長：川島 祐輔

高谷小学校は今年度からコミュニティ・スクール(以下:CSと表記)になりました。CSとは、学校の運営について学校だけでなく、保護者や地域の方に一緒に考えていただく「学校運営協議会」を設置した学校のことです。11名の委員で構成されており、年に5回開催する会議を通して子どもたちの健やかな成長を願い、それぞれの立場からどのような支援ができるのかなどについて考えています。

本校の学校教育目標は「地域・社会で生きる子を育てる ～つむぎ育てる～」としています。子どもたちは、家庭において基本的な生活習慣を身につけます。そして学校では国語や算数だけではなく、友だちとの関係づくりや様々なルールを身につけていきます。

そして、身につけたことを実践する場が地域です。家庭、学校で身につけたものやことを地域で活用します。「地域・社会で生きる子」の育成に、皆さまの力をお貸しいただけたら幸いです。



◀「たかやサポーター」在バッチ

▲タカヤピック(運動会)1年生の表現

新林小学校 校長：藤田 純子

「人とのかかわりを大切に、ささえあえる子どもを育てる」を学校教育目標とする本校では、現在628名の子どもたちが毎日元気に学んでいます。市の中心街に隣接しながらも、自然豊かな新林公園がすぐお隣にあり、四季折々の変化を楽しむことができます。

今年度は全校の運動会を、低中高の3部に分けて保護者の方々にも参観していただきました。教室での学習にもグループや少人数での話し合いや作業を取り入れ、関わりから育まれる個の成長を目指しています。今年度は1年生3年生を対象に交通安全教室を行いました。

地域の皆様には今後とも子どもたちの安全と健やかな成長を見守っていただきますようよろしくお願いいたします。



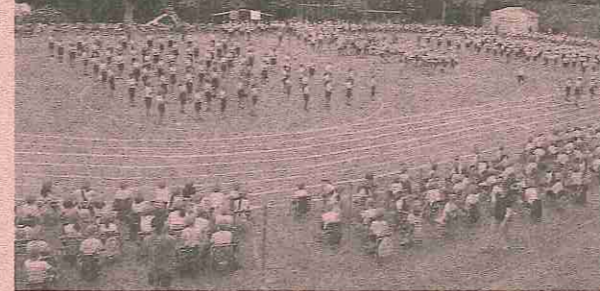
▲交通安全教室

▲運動会6年生の演技

大鋸小学校 校長：山崎 晋治

今年度開校43周年を迎え、現在、25クラス、811名(613世帯)の子どもたちが在籍しています。昨年度、新プレハブ校舎を増設し、校内は多くの子どもたちの元気な声で満たされています。

今年度は、『“笑顔の輪”をひろげよう大鋸小』をスローガンとし、大鋸小学校に関わる全ての人が、温かくつながる学校を目指しています。また、学校教育目標「自らの体験を通して伸びようとする子どもの育成」を目指し、積極的に校外に出るなど、体験的な学習に努めています。その中で、様々な人との関わりから、大切なことを学んでほしいと願っています。地域の方々に見守られ、健やかに成長している子どもたちに、これからも応援をよろしくお願いいたします。



▲スポーツフェスティバル

大道小学校 校長：町田 一郎

コロナ禍も3年が経過しました。感染対策を基本としウィズコロナの視点での教育活動を模索し、広げ、新たな形での教育活動が定着しつつあります。本校でも今年度再開できたことの一つに夏の水泳学習があります。また秋には、3年ぶりとなる全校児童による運動会を実施することができました。どちらも子どもたちの瞳が輝いていました。

すべてを3年前と同じように行うことは難しいですが、今後も状況を見極め、子どもたちにとって価値のある教育活動を進めていきたいと思っております。日頃より本校児童を温かく見守ってくださっている地域の皆様へ、改めて感謝申し上げます。



▲水泳学習

運動会▶

むらおか・子ども相互支援会議 委員

【会長】

石井 陽一 村岡地区自治町内会連合会推薦

【副会長】

佐々木 貴子 村岡小学校校長
 小池 規子 村岡中学校校長
 廣田 和江 村岡地区青少年育成協会の会長
 (発信・共催事業部会長)
 三 脩 忠 藤沢東部地区青少年育成協会の会長
 高 久 進 藤沢東部地区自治会・町内会連合会会長

【会計】

貞末 良美 大鋸小学校PTA
 宇野 祐江 高谷小学校PTA

【書記】

杉崎 ユリ 藤ヶ岡中学校PTA
 端山 弘恵 村岡小学校PTA
 (安全サポート隊部会長)
 浅井 智子 大道小学校PTA

【監事】

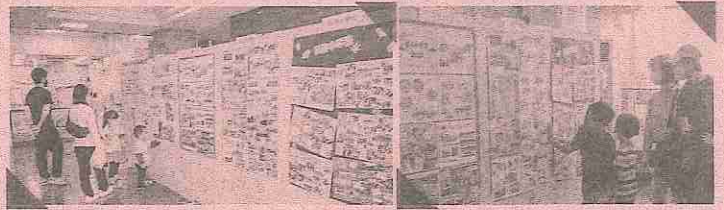
安部 信輔 村岡中学校PTA
 平石 美和 村岡地区主任児童委員

【委員】

町田 一郎 大道小学校校長
 藤田 純子 新林小学校校長
 山崎 晋治 大鋸小学校校長
 川島 祐輔 高谷小学校校長
 米倉 康子 藤ヶ岡中学校校長
 (ふれあい音楽会部会長)
 甲斐 英恵 新林小学校保健会
 中山 ゆき子 大鋸小学校PTA
 福岡 則夫 村岡地区防犯協会会長
 大谷 美津子 村岡地区青少年育成協会の
 (広報部会長)
 戸倉 毅 村岡地区社会福祉協議会会長
 山田 里佳 村岡地区主任児童委員
 望月 隆雄 村岡地区保護司
 佐藤 八千代 藤沢東部地区青少年育成協会の
 洪谷 幸江 藤沢東部地区地区主任児童委員
 佐藤 藤 藤沢東部地区保護司

村岡

ふれあいまつり



11月12日(土)・13日(日)、村岡公民館にて村岡ふれあいまつりが3年ぶりに開催されました。感染対策をしながらの開催となりましたが、館内は様々なサークルや団体の発表や展示、そして村岡小学校校庭では模擬店やSL乗車体験などがあり、大変多くの人々で賑わいました。

むらおか・子ども相互支援会議では、1階ロビーで村岡地区内各小中学校の学校紹介を壁新聞形式で展示発表しました。壁新聞は学校行事や学習の様子が写真や文章で紹介され、それぞれの学校の個性があふれ、子どもたちの生き生きとした様子を見ることができました。

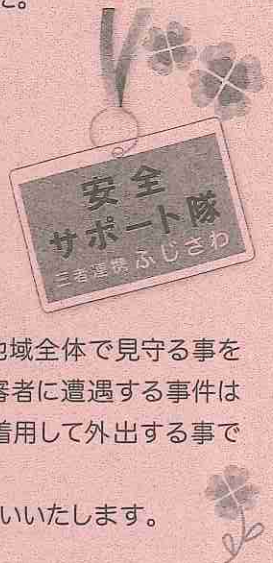
この展示は、地域の方たちにもむらおか・子ども相互支援会議の活動を知っていただける機会となりました。

安全サポート隊

安全サポート隊部会長 端山 弘恵

日頃より安全サポートカード、着用ご協力ありがとうございます。安全サポートカードは子どもたちを犯罪、事故から地域全体で見守る事を目的としています。昨今も子ども達が不審者に遭遇する事件は身近でおきています。サポートカードを着用して外出する事で抑止力になればと思います。

あらためて、皆様のご協力よろしくお願いたします。



藤沢市三者連携推進事業とは

子どもたちの健やかな成長を支援するためには、学校だけに依存せず、学校・家庭・地域が連携し、環境づくりとさまざまな組織のネットワーク化を図ることが必要です。

そこで藤沢市では、平成11年度から各中学校区を単位に地域協力者会議を組織し、地域の課題を解決する支援体制づくりが進められてきました。これが三者連携事業といわれるもので、市内19中学校区に15の支援組織ができています。(2校で1つの支援組織が4つあります。)

「むらおか・子ども相互支援会議」は、村岡・藤ヶ岡の2つの中学校区で1つの支援組織とし、村岡・大道・新林・高谷・大鋸の5小学校を加えて学校関係者と保護者、地域の人たちで構成しています。



編集後記

今年度も新型コロナウイルスの影響で、活動が制限される1年となりましたが、このような中でも、引き続き子どもたちの健やかな成長のため、学校・家庭・地域と手を携えて活動してまいりますので、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。(編集委員一同)